

令和4年度 草津市災害時参集訓練実施要領

(1) 目的

勤務時間外に大規模地震等の災害が発生した場合、災害対策本部ならびに各対策班の職員が参集可能な所要時間を把握することが業務継続体制を構築する為には必要不可欠である。

この訓練は、本市地域防災計画ならびに業務継続計画、災害時受援計画に基づき、早急に必要な人員を確保し、適正配置、効率的な活動体制を構築すること、ならびに、職員自らが、災害対策本部組織における役割を再認識することを目的とする。

(2) 訓練実施日時

通常勤務時間外（日時は非公表とする）

(3) 訓練対象者

全職員（ただし、当日イベント業務等に従事中の職員を除く）

(4) 訓練方法

- ① 大規模地震による災害対策本部設置を想定し、全職員に参集を呼びかける「職員緊急連絡メール」の送信。
- ② 実際の参集は行わず、L o G oチャットを活用し、災害対策本部連絡グループによる職員の安否確認、および参集状況報告（参集可能時刻の報告により、体制確保にかかる所要時間のシミュレーション）を実施。
- ③ 後日、報告書提出により、事後検証を実施。

(5) L o G oチャットアプリの連絡グループについて

令和4年4月28日付、危発第1295号「『アプリ』を活用した草津市災害対策本部の連絡グループの構築について（通知・依頼）を参照。

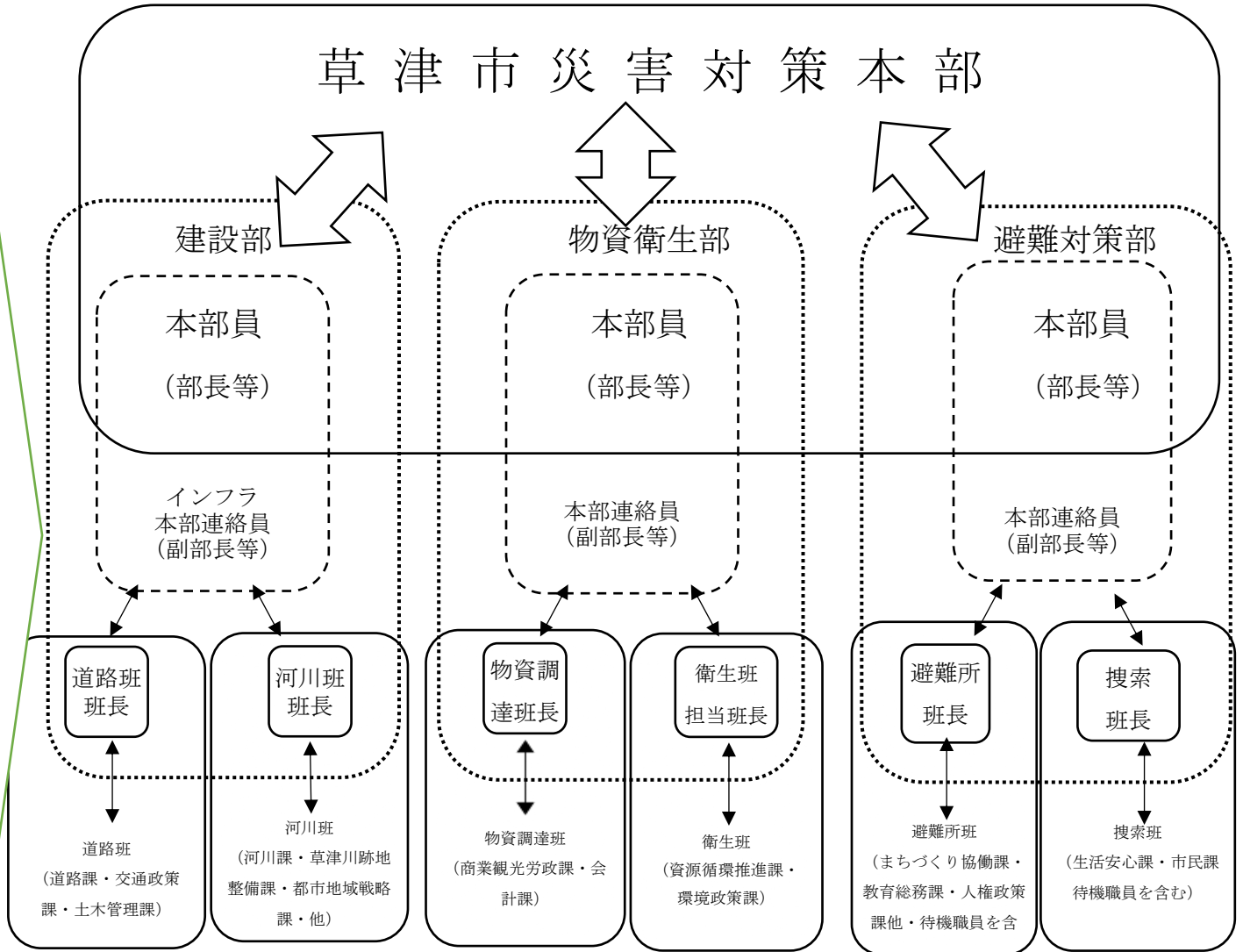
アプリをインストールしているスマートフォンやタブレットがない職員については、対策本部における所属班の班長にその旨を申し出て、別の手段による班長との連絡がとれるよう対策を行っておくこと。

(6) 時間外勤務対応について

「職員緊急連絡メール」を受信し、メール本文に示す想定災害規模における参集可能時刻の報告をL o G oチャットで行う訓練であり、業務量は微量となることから、時間外勤務の対象外とする。

参集訓練イメージ

一斉
メール
配信



一斉「職員緊急連絡メール」の送信例文

【訓練・このメールは職員参集訓練メールです】

本日 時 分 ごろ滋賀県南東部、甲賀市を震源とする大規模な地震が発生しました。地震規模はマグニチュード 7 と推定、草津市域において震度6の揺れを感知しています。草津市災害対策本部を設置しますので、全職員直ちに登庁および前線基地班、避難所班につきましては所定の部所への参集願います。なお、この地震により、滋賀県南部地域での停電が発生しており、関西地域を中心にJR全線、ならびに近江鉄道、信楽高原鉄道は運転を見合わせている模様、注意願います。

【訓練・このメールは職員参集訓練メールです】

全職員は、参集の可否をLoGoチャットで各班長に報告すること。「職員緊急連絡メール」受信した場所から、交通状況を想定した参集到着時間を報告してください。

令和4年度災害時職員参集訓練の実施報告書 【課長級（班長）】

月 日 に実施した、災害時職員参集訓練につきましては、下記の通り報告します。

担当所属（以下の所属部を選んで○をつけてください。）

総務部 避難対策部 救護部 物資衛生部 建設部 上下水道部 議会部

所属班

()

班員数

うち、参集可能の報告人数

連絡の無かった人数

() 人 () 人 () 人

最初に参集可能の有無の報告を受けた時間

時 分 (LoGo チャットの受信時間を記入ください)

連絡を受けた人数並びに受付時間（単位：人）

班員総数	参集可能	参集不可	30分以内	60分以内	90分以内	報告なし

その他、意見や課題があれば記入ください。

()

報告者（所属名・氏名・連絡先）

() 課 内線 ()

